

平成30年度学校評価総括表

奈良県立奈良北高等学校

<p>教育目標</p>	<p>○ 自然や人間を大切にす豊かな情操を養い、強靱な意志と自主自律の精神を育てる。 ○ 国際化・情報化の進む社会の中で、狭い価値観にとらわれず、互いに共生できる社会の実現を目指す人間を育てる。 ○ 個性と創造性を伸ばす個に応じた教育を進めるとともに、自ら考え、自ら学ぶ力を育成する。</p>	<p>総合評価</p>
<p>運営方針</p>	<p>開校以来の実績の上に、常に各取組を点検し、普通科・理数科の特色を生かした教育活動の一層の充実に向け、教職員が連携・協力して積極的に取り組む。これにより、生徒からは「行きたい学校・行ってよかった学校」、保護者からは「行かせたい学校・行かせてよかった学校」、地域からは「地域から期待される学校・地域から愛されている学校」を目指す。</p>	<p>B</p>

<p>平成29年度の成果と課題</p>	<p>本年度重点目標</p>	<p>具体的目標</p>
<p>【成果】 昨年度の教育活動全般についての自己評価は、概ね適切であった。 ・生徒理解に向けての職員研修を実施することができた。 ・台湾の高校生との交流を実施したことで、国際理解の一助となった。 ・進路については、概ね生徒の希望を実現できた。</p> <p>【課題】 ・命の尊さを生徒と職員がともに大切にできる学校をつくる。 ・生徒の学習意欲をさらに高めるため、主体的・対話的で深い学びに繋がる学習方法を取り入れる。 ・地域から自転車通学を含め登校時のマナーに関する要望が多くあったことから、規範意識を向上させる取組が必要である。 ・地域に愛される学校として、地域との連携をさらに深める取組を進める必要がある。 ・大学との連携など、外部教育機関とつながりをもった取組のより一層の充実が必要である。 ・理数科のさらなる特色化と同じように、普通科の取組の一層の充実が必要である。 ・分掌の改編に伴って、効率的な学校運営を目指す。</p>	<p>【1】 豊かな人間性の育成に努める。</p> <p>【2】 基本的な生活習慣を確立させる。</p> <p>【3】 自ら学び・考える態度を育てる。</p> <p>【4】 個を大切にた進路指導の充実を図る。</p> <p>【5】 情報の有効活用を図る。</p>	<p>① 一人一人の違いを豊かさとして捉え、生徒が自尊感情を醸成し、自他の生命と人権を大切にしようとする精神を育てる。 ② 生徒会活動の充実を図り、文化祭、体育祭等の学校行事において、生徒の主体的活動を促進する。 ③ ボランティア活動への積極的な参加を促進する。</p> <p>① 日々の清掃活動を徹底し、身の回りの整理整頓を習慣付ける。 ② 社会のルールやマナーを身に付けさせるための指導を行う。 ③ 自然災害や犯罪、事故等の危険から身を守るため、危険予測の能力を高め、危機回避の力を身に付けられるよう、安全教育の充実を図る。 ④ 生徒一人一人を大切にた教育相談の充実を図る。</p> <p>① 生徒が主体性をもって考え、探究的な学びをする授業を計画する。 ② 授業公開や研修会などを積極的に行い、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業ができるよう指導方法の改善を図る。 ③ 個別質問へのきめ細かな対応や、補習の内容の充実を図る。 ④ 授業力の向上を目指し、授業アンケートや授業公開などを活用して「分かりやすい授業」の研究を推進する。</p> <p>① 将来に向けての進路計画がもてるよう、各学年における指導内容と資料の精選を行う。 ② 生徒一人一人に将来の職業を意識した進路目標を設定させ、その実現のため、計画的・継続的な支援をする。 ③ 各種の講座や合宿等の充実を図る。 ④ 実力テスト等を適切に実施し、結果の効果的な活用方法を研究する。</p> <p>① 生徒、保護者や地域の方々への確実な情報伝達を行う。 ② Webページ、学年だより等、学校情報を積極的に発信する。 ③ 学習活動における情報機器の積極的な使用方法について研究するとともに、正確な情報作成に努める。</p>